

「京都御苑の巨木・珍木」観察会

日 時：2023 年 12 月 15 日（金）

10：00～14：30

集合場所：京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」北改札口

参加者：17 名（欠席者 6 名）+実習生 3 名

担当者：大川内 齊藤

行程：閑院宮邸跡 → 宗像神社 → 九条池 → 中立売休憩所
（昼食・打ち合わせ）→ 猿ヶ辻 → 桜松 → 解散

作成者：立本 勉





閑院宮邸跡東門



実習生(3名)の紹介



担当者
大川内さん
齊藤さん



かじたに
ガイドの楢谷さんによる閑院宮家の説明



床もみじ…秋に紅葉、春に深緑



御所透かし…剪定用の用具



中庭



かえるまた
墓股



閑院宮邸は創建（1710年）以来の
場所にあり、公家町の歴史を今に
伝える貴重な遺構となっている。



アオギリについて説明



宗像神社



巨木のアラカシを計る



アラカシの幹回りは約 5m



これは宗像神社のご神木である、樹齢 600 年を超える大楠木の樹皮です。この樹皮にも神様は宿ると考えています。

巨木とは、地上から 1.3m の位置で幹回りが 3m 以上の樹木をいう



巨木のスダジイは 3.7m



九条邸跡の九条池



巨木のイチヨウは6m



見上げると首が痛くなる！



イチヨウについて実習生に説明



巨木のクスノキを
背景に集合写真



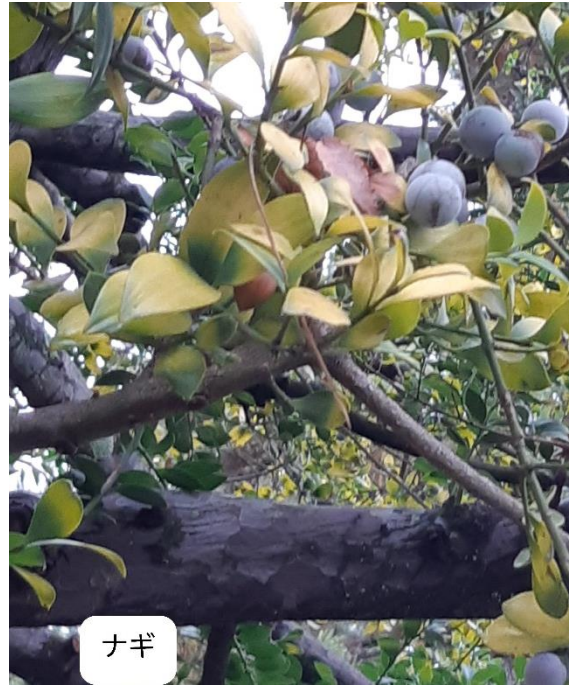
巨木のクスノキは7.3m





ナギについて実習生に説明

ナギの葉っぱは引っ張っても裂けない…縁結びの木 神社などに植えられている。



ナギの実



京都御所の方へ向かう



センダンの実



猿ヶ辻…猿が見えましたか？

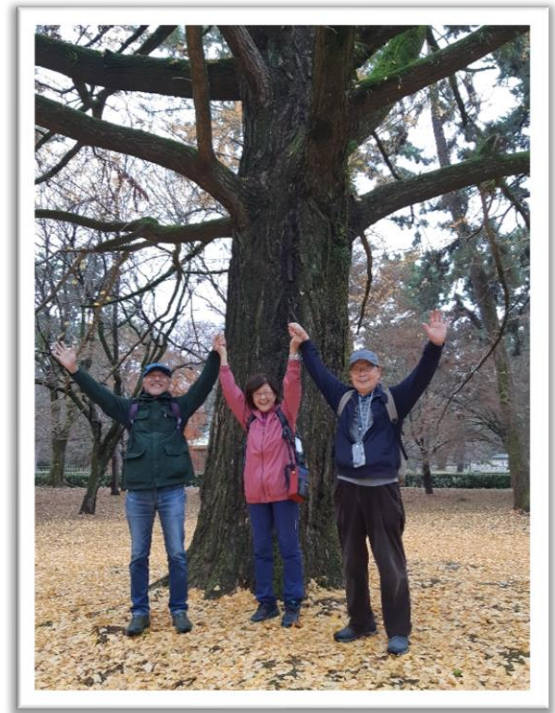
御所北東角の塀は凹んでいる。鬼が来ないように角を取っている鬼門。日吉山王神社の使者の猿は、夜うろつき悪戯するので金網が張られ閉じ込められているとのこと。 猿





桜松…倒れたクロマツの中にヤマザクラが生え、
毎年サクラの花を咲かせるとのこと。

巨木のイチョウは4 m



建礼門…天皇皇后及び外国元首のみ通る門



建春門…明治以降、皇太子や皇后が出入りする門
として使用されている。



巨木のイチョウは
5.5m

実習生

エノキに乗っ取られた松



担当者より終了の挨拶と実習生の感想

今日は雨も降らず無事に観察会を終えることが
出来ました。

皆さん、お疲れ様でした！